



資料2

科学技術・学術審議会

産業連携・地域支援部会

イノベーション創出機能強化作業部会(第3回)

H25.8.7

文部科学省事業「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」
(研修・教育プログラムの作成)

リサーチ・アドミニストレーター 研修・教育プログラムの策定

松永 康

早稲田大学 研究戦略センター 教授

2013年8月7日

内容

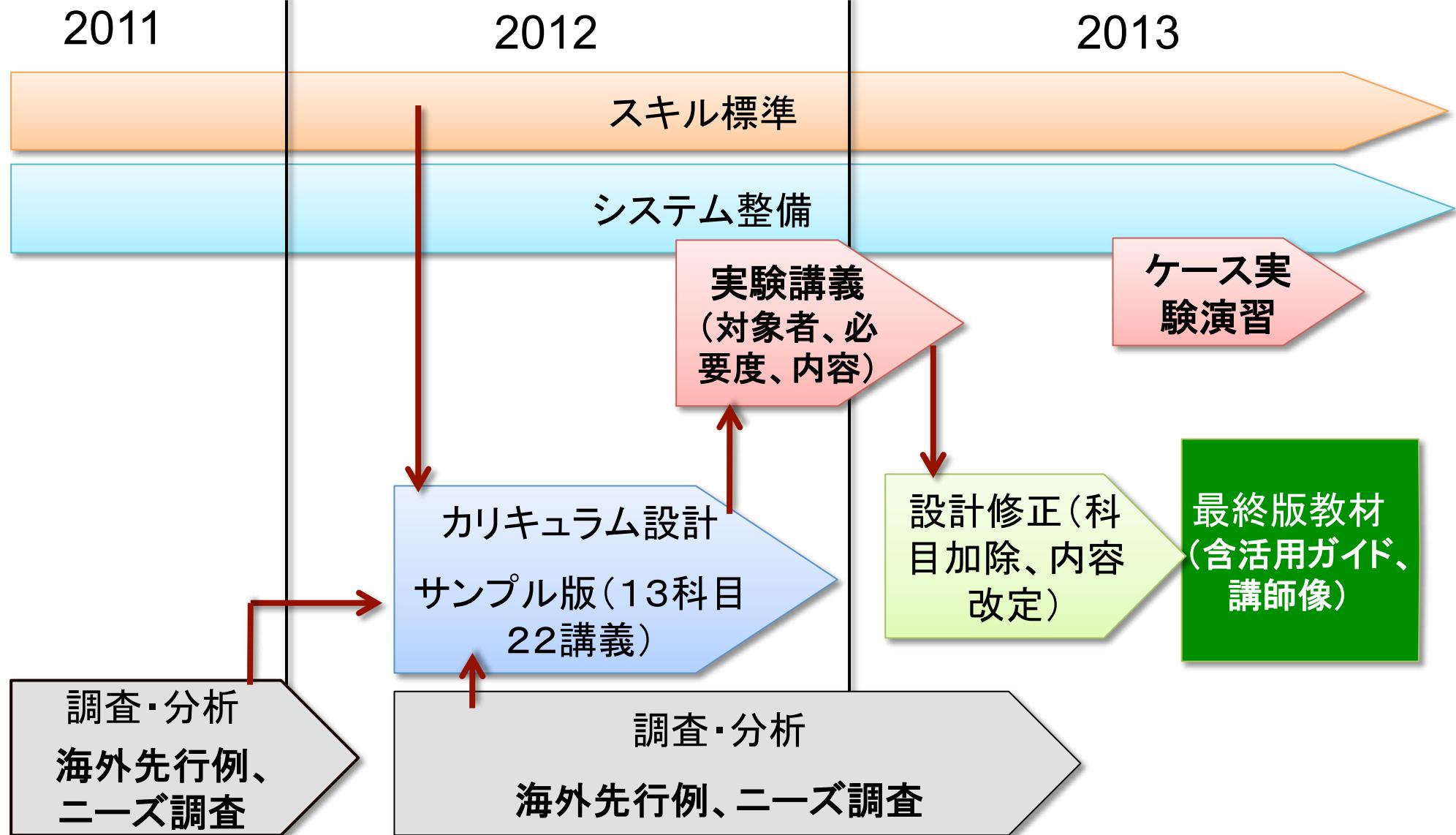
- リサーチ・アドミニストレーター研修・教育プログラム策定の全体計画
- 設計の手順
 - ✓ ニーズ調査、先行事例収集
- 科目リスト
- 米国・欧州のカリキュラムとの比較
 - ✓ 米国・欧州の研究マネジメント調査
- 試作版の作成
- リサーチ・アドミニストレーター試行的研修会での実験
- 研修会でのアンケート分析
- 科目及び内容の改訂

全体計画・目標

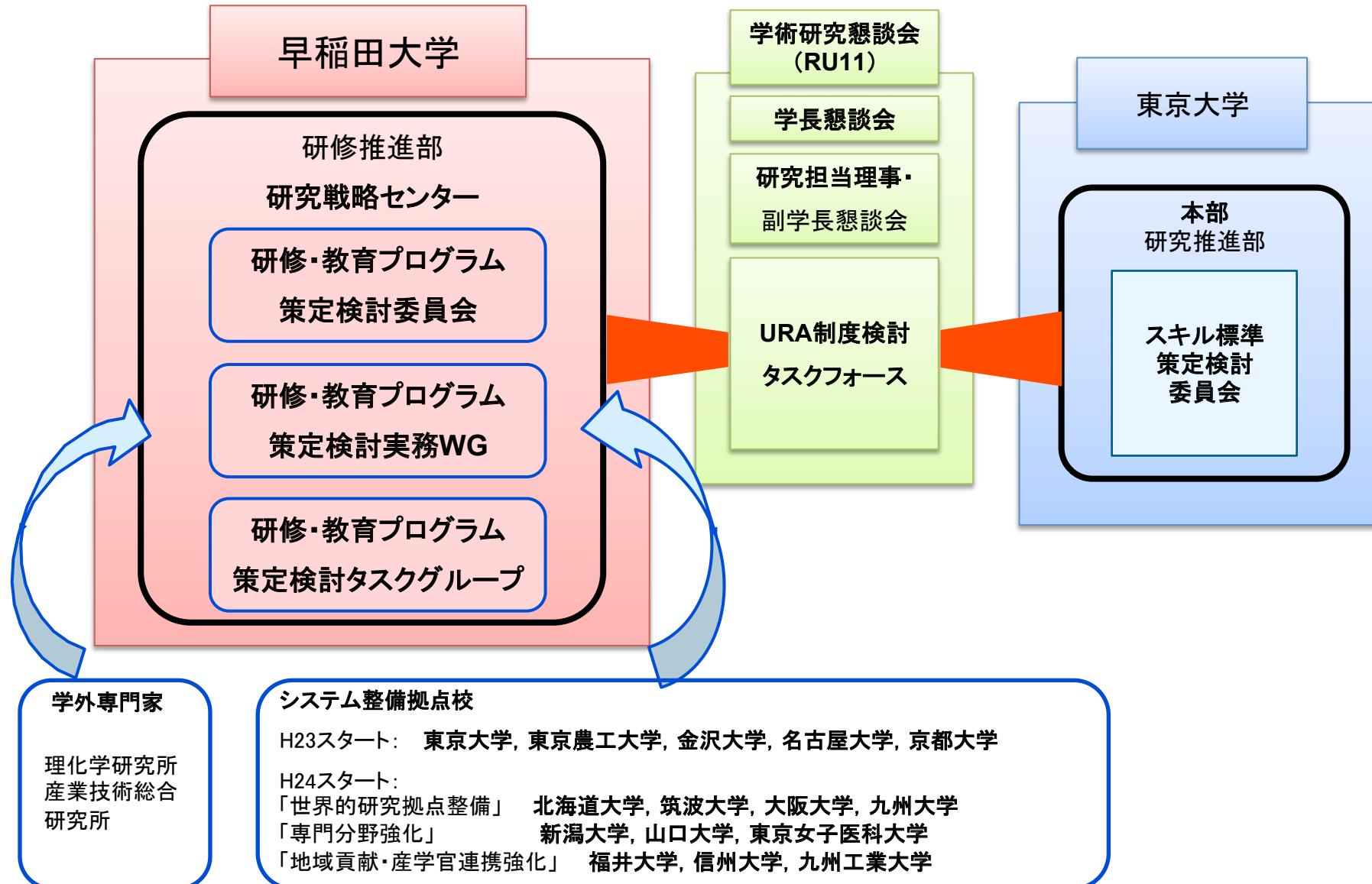
学術研究懇談会(RU11)タスクフォースで検討してきた内容を踏まえ、URA研修・教育プログラム策定検討委員会を組織した上で必要な独自調査を適宜行い、具体的項目に落としこみ、プログラム原案を作成、試行実施、フィードバックをかけ本実施、定着の検討に至る

1. 日本版URAとは(調査・分析)
2. プログラムの作成
3. プログラムの実施

プログラム作成の手順



事業推進体制・連携

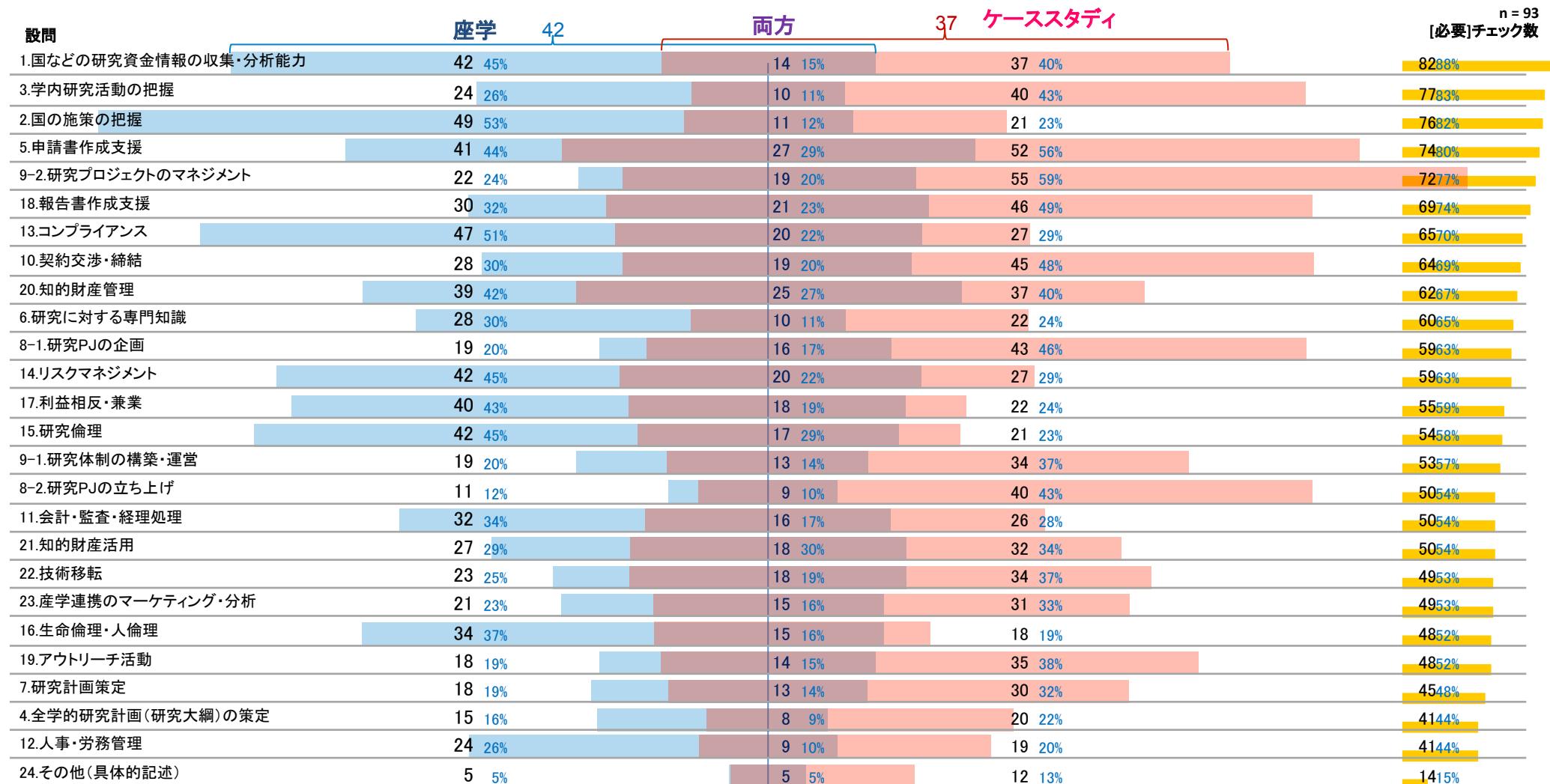


2011年度アンケート調査まとめ

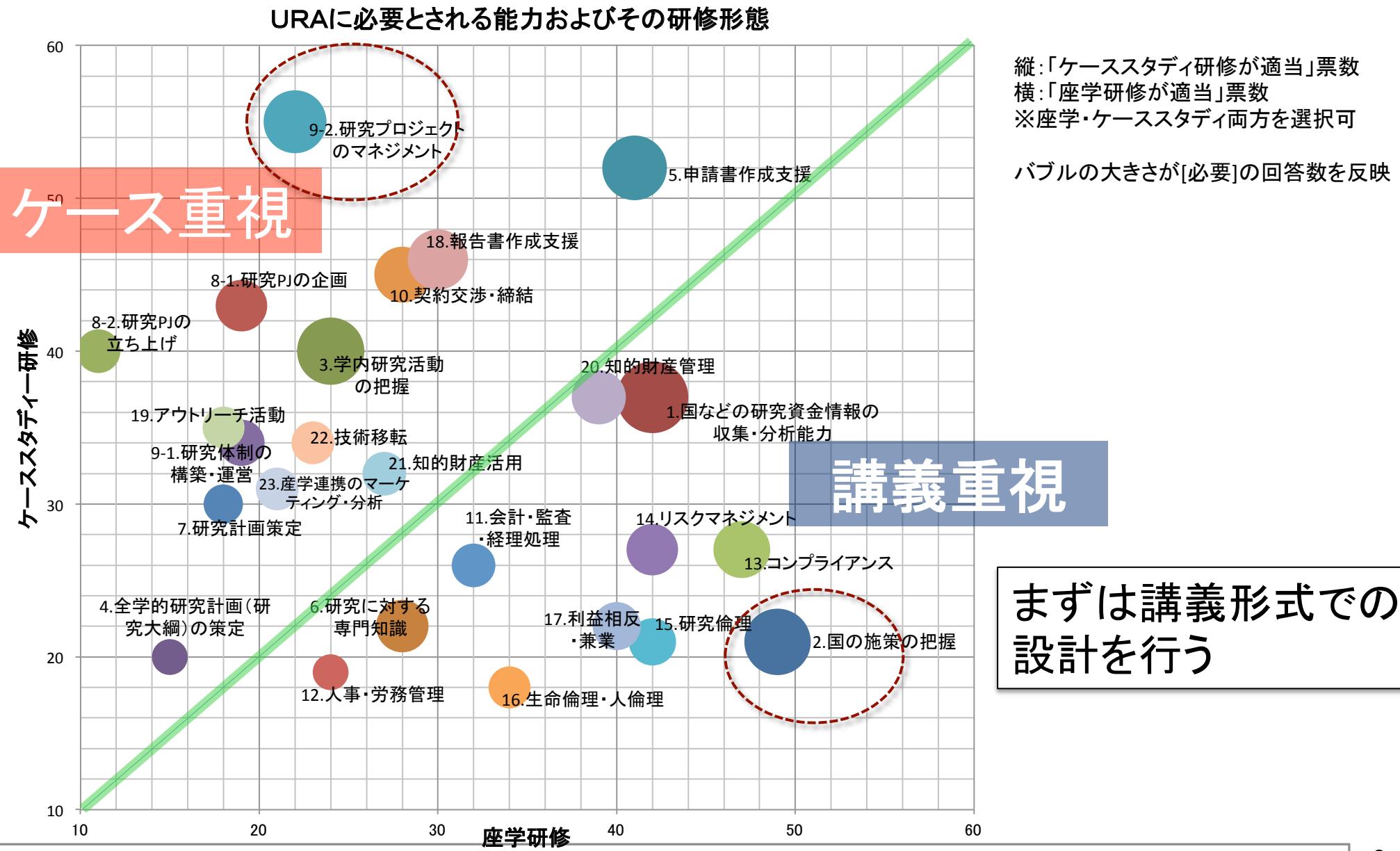
- 63大学に調査依頼(2012年2-3月、管理職中心)
- 27機関、93件の回答(重複含む。国公76、私17)

- 93%がURAの必要性を認識
- 日本の特徴として、プレアワード業務に当たるプロジェクト創出に対する期待大
①大型プロジェクト創出機能、②全学的サービスインフラ(知的管理機能等)機能、③科研費応募アップ等の研究底上げ機能、④国際共同研究推進機能、の順②—④はほぼ同数
- リサーチアドミニストレーターの存在は現時点で既設3割、予定3割
- リサーチアドミニストレーターのレベルは、2-3階層(2層1/4、3層1/2)
- 教育・研修の整備は実質なされていない

求められる機能・能力、適切な教育・研修手法は？



研修・教育形態の区分け



URA研修・教育プログラムの設計手順詳細

1. 概念設計(対象の絞り込み、要求事項)

- スキル標準、調査結果、要望結果の各要素分類
- 各要素の共通項の抽出
- 講義が有効な項目

2. 基本設計(科目構成と科目仕様)

- 全体構成(時間割)と科目リスト
- 科目の仕様(内容選定、シラバス、評価、講師)

3. 詳細設計(マテリアル)

- 科目詳細・教材、資料等
- 講師の要件

試行的研修会

- 講義(全国からRA100名程度)
- 調査分析、プログラムの有効性評価

改訂(on going)

完了

設計上の考慮事項

- **スキル標準**
3職務類型×4業務区分×3レベル⇒要素の基本モデル
- **アンケート調査**⇒ニーズ調査
期待内容整理(制度整備、プロジェクト創出等)
- **ヒアリング調査**⇒現実のニーズ調査、強化類型
 - タイプ1A:本部集中(京大、阪大)
 - タイプ1B:PJ創出重視・地域核(名大、筑波大、北大、九大)
 - タイプ2A:产学機能も集約(金沢大、農工大)
 - タイプ2B:产学重視・地域集中(信大、九工大、福井大)
 - タイプ3:機能特化(女子医大、新潟大、山口大)
 - タイプ4:部局ベース研究推進(東大)
- **文科省の対象分類**
世界的研究拠点、専門分野、地域・产学官連携
- **海外先行大学等**:NCURA、Emmanuel College、Speyer Univ.、等

絞り込み(基本設計)

1. スキル標準の業務区分22項目に該当する科目リスト作成
(スキルを満たす科目の配置と、本学が調査したアンケート、ニーズ調査はほぼ一致)
2. アンケート分析を基に、各科目における座学、ケーススタディ、オプション、OJT等の必要性を検討
3. NCURA、エマニュエル大、シュパイヤー大の研修プログラムに共通する科目、固有の科目を整理

1-3. を基に科目リスト(内容・時間配分)を作成

- 当初設計したプログラムの所要時間は、
90分・5時限×5日×3週＝75時限(OJTは外数)⇒16コマへ縮減
- 科目数は14⇒13
- 科目仕様(シラバス記載事項) 9項目

科目リスト

I. 総論

1. 大学マネジメント
2. リサーチアドミニストレータ論
3. 科学技術政策

II. 専門（専門職的機能）

4A+4B. 研究力調査・分析（理論、手法）（実践）

5. 研究と知財管理
6. 产学連携

7A+7B. 研究倫理・コンプライアンス（研究倫理、生命倫理、利益相反、輸出管理、その他）

8. 申請・報告書
9. 広報・アウトリーチ

10. 学校会計・予算・監査

III. プロジェクト・マネジメント（企画的機能）

11. マネジメント手法
12. マネジメントのBP(Best Practice)
13. 評価（学内評価、学外評価対応）

- ✓ 総履修時間は約16限（90分×5限×3日）で設定
- ✓ スキル標準22項目（初級レベル）をカバー。ただし、(4)その他業務の連携支援（教育）、イベント開催、安全管理の一部は除く
- ✓ わが国で特に期待があるプレ・RD分野をⅢ（11-12）で対応を試み
- ✓ 1.は大学ごとに異なる可能性があることに留意。（国公私立、学内慣行、本部・部局関係、産学組織との関係、地域連携など）
- ✓ 3.は通常得られる固定化された情報に関心は乏しく、トピックス、政策背景などに期待がある
- ✓ 4.と7については個別要望が高いこと、専門性が高いことから各2限に拡充。4-7Aは主として研究寄り、7B-10は事務寄りの専門職機能
- ✓ 11-12は理論・手法の習得にとどまらず、実践的知識の習得のため、世界・専門・地域別のBP(Best Practices)の典型例の収集を意図
- ✓ 海外先行（修士）モデルでは75時限程度必要とされる。試行版では国内実需と参加可能性を勘案し短期集中化。ただし、科目の範囲は海外先行モデルをほぼカバー

海外先行プログラムとの比較

UNITT IPR/TT	政策情報分析	プロジェクト企画	アドミニストレーション全般	アドミニストレーション全般	リーダーシップ・組織論	リーダーシップ・組織論
			戦略関係	戦略関係		戦略関係
共通項	日本	NCURA	会計・監査	会計・監査	エマニュエル	シュパイバー
			マネジメント関係(ポスト)	マネジメント関係	会計・監査	会計・監査
	コンプライアンス・倫理・法務	コンプライアンス・倫理・法務	コンプライアンス・倫理・法務	コンプライアンス・倫理・法務	マネジメント関係	マネジメント関係
			知財関係	知財関係	コンプライアンス・倫理・法務	コンプライアンス・倫理・法務
	契約関係	契約関係	契約関係	契約関係	契約関係	知財関係
			評価関係			評価関係
	広報関係	文書等スキル	広報関係			広報関係
			文書等スキル	文書等スキル		文書等スキル
	能力開発					

欧州大学の研究マネジメント調査

- 第1回 2013.2.3-10(東大、金沢大、早大、農工大)
ケンブリッジ大、シェフィールド大、シュパイヤー大、ドイツ学長会議、
ボン大、ハイデルベルグ大
マスターコースプログラムは2011~、RAではなくPAをかなり意識、教科書はなく少人数でプレゼンテーションとディスカッションを繰り返す



- 第2回 2013.2.17-23(RU11)
サセックス大⇒ARMA
インペリアルカレッジロンドン
チューリッヒ工科大学



科目担当一覧(2013.3)

分野	科目名	時間	担当大学等	講師
I 総論	1. 大学マネジメント	1コマ(90分)	東京大学	佐久間
	2. リサーチアドミニストレーターとは	1コマ(90分)	理化学研究所	高橋
	3. 科学技術政策動向	1コマ(90分)	科学技術振興機構	内丸
II 専門（専門職的機能）	4. 研究力調査・分析	2コマ(180分)	早稲田大学	松永
	5. 知財管理	1コマ(90分)	東北大学	田中
	6. 産学連携	1コマ(120分)	大阪大学 (60-90分)	宮田
			九州工業大学 (30-60分)	影山
III 専門（専門職的機能）	7. 研究倫理・コンプライアンス	2コマ(180分)	産業技術総合研究所 (45分)	湯元
			東京女子医科大学 (45分)	河原
			産業技術総合研究所 (30分)	河津
			東京女子医科大学 (30分)	河原
			九州大学 (30分)	佐藤
IV 事務系	8. 申請・報告書作成支援	1コマ(90分)	早稲田大学	松永
	9. 広報とアウトリーチ	1コマ(90分)	東京農工大学	伊藤
	10. 学校会計・予算・監査	1コマ(60分)	早稲田大学	研究推進部
V （企画機能）	11. マネジメント手法	1コマ(90分)	早稲田大学 (60分)	中島
	12. マネジメントの範例 (BP)	2コマ(150分) (30分×5例)	北海道大学 (30分)	山中
			東京女子医科大学 (30分)	河原
			理化学研究所 (30分)	高橋
			九州大学 (30分)	山内
			金沢大学 (30分)	稻垣
	13. 成果報告・評価	1コマ(90分)	京都大学	田中

講義試行(DO) + 分析(CHECK)

1. 試験的な講義の実施
2. 受講生・派遣大学のフィードバック分析
3. プログラム最終版(2013)設計への反映



受講生： システム整備校等のURA

期間： 2013年3月6日～8日

所要時間： 90分×約16時限(13科目、22講義)

場所： 早稲田大学・早稲田キャンパス

講義試行日程

時限	3月6日(水)		3月7日(木)		3月8日(金)			
1時限 9:00-10:30	9:00-9:15	趣旨説明、アンケートのお願い 早大 中島一郎						
	9:15-10:30	「I-2. リサーチ・アドミニストレーターとは」 理研 高橋	9:30-10:30	「II-10. 研究費管理一般」 早大 研究マネジメント課・研究企画課	9:30-10:00	「II-7-3. 研究倫理・コンプライアンス 利益相反マネジメント・一般」産総研 河津		
2時限 10:40-12:10	10:40-12:10	「I-3. 科学技術政策」 JST 内丸	10:40-12:10	「I-1. 大学マネジメント」 東大 佐久間	10:00-10:30	「II-7-4. 研究倫理・コンプライアンス 利益相反・生命」女子医大 河原		
					10:40-11:25	「II-7-1. 研究倫理・コンプライアンス 研究倫理・一般」産総研 湯元		
3時限 13:00-14:30	13:00-14:30	「III-13. 成果報告・評価」 (90分)京大 田中	13:00-16:10	「II-4. 研究力調査・分析」 早大 松永 エルゼビア・ジャパン 柿田 トムソン・ロイター 古林	11:25-12:10	「II-7-2. 研究倫理・コンプライアンス 研究倫理・生命」女子医大 河原		
					13:00-14:30	「III-11. 研究企画(手法)」 早大 中島		
4時限 14:40-16:10	14:40-16:10	「II-6-1. 産学連携・一般」 阪大 宮田			14:40-15:10	「III-12-1. 研究企画(BP)1」 女子医大 河原		
					15:10-15:40	「III-12-2. 研究企画(BP)2」 北大 山中		
5時限 16:20-17:50	16:20-17:20	「II-6-2. 産学連携・地域連携」 九工大 影山	休講※	「II-5. 知的財産管理」 (90分)東北大 田中 ※事情により休講	15:40-16:10	「III-12-3. 研究企画(BP)3」 九大 山内		
					16:20-16:50	「III-12-4. 研究企画(BP)4」 金沢大 稲垣		
6時限 18:00-19:30	17:30-19:00	「II-8. 申請・報告書作成支援」 早大 山田	16:20-17:50	「II-9. 広報とアウトリーチ」 農工大 伊藤	16:50-17:20	「II-7-5. 大学における安全保障輸出管理」 九大 佐藤		
					17:20-17:50	「III-12-5. 研究企画(BP)5」 理研 高橋		
					17:50-18:00	閉会挨拶 早大 URA研修・教育プログラム策定検討委員会 委員長(研究推進部長) 石山		
					18:00	アンケート記入		
					19:00-20:30	懇親会		